

番号	奉納年代	名称 (備名)	法量 (縦×横×厚)	形	状	題名 (願書、奉納年月日、奉納者、絵馬筆者等)
1	享和4年	廻船図絵馬 (栄徳丸)	62.0×92.9×1.8 cm	板絵着色	横三枚板	「奉〇前」「干時享和四甲申年ノ二月吉祥日」「出雲松江船頭依兵衛」
2	天保3年	廻船図絵馬 (福祥丸)	53.3×71.4×3.5	板絵着色	横三枚板	「天保三壬辰七月吉日 願主大谷平左衛門」
3	天保6年	廻船図絵馬 (住福丸)	46.7×60.8×3.5	板絵着色	横三枚板	「御宝前 天保六年ノ因ノ六月吉日 住福丸〇兵衛船」
4	安政2年	廻船図絵馬 (石州御蔵入)	35.1×50.2×1.5	板絵着色	横一枚板	「奉寄進」「安政二乙卯歲ノ五月吉日 石州那賀郡銀山附御料〇願主五輪屋天〇」
5	安政3年	廻船図絵馬 (ナシ)	26.3×33.8×1.8	板絵着色	横一枚板	「奉寄進 安政〇辰十月吉日ノ〇(讀?)岐屋茂三郎船」
6	安政5年	廻船図絵馬 (喜吉丸・長栄丸)	59.0×77.7×2.3	板絵着色 金砂子蒔	横一枚板	「奉納(左書き)」「安政五年戊午九月吉日」「越州三國深富屋祐四郎」「吉本善京筆(花押)」
7	安政6年	廻船図絵馬 (不明)	23.3×28.6×1.6	紙本着色	横一枚板	「奉 ^{4b} 」「安政六未年二月十一日 能州黒嶋 林右衛門船」
8	安政6年	廻船図絵馬 (不明)	45.7×61.4×3.0	板絵着色	横一枚板	「安政六年ノ未三月廿九日」「願主 江崎屋吉右衛門船」「吉本善京筆(花押)」
9	文久3年	廻船図絵馬 (善〇丸)	34.6×48.8×1.6	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉懸」「文久三年ノ亥十一月吉日」「川嶋屋好五郎」
10	慶応元年	廻船図絵馬 (善〇丸)	40.5×57.3×1.6	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉納ノ慶応元年九月廿八日 長州ノ田万」「大重小〇ノ大谷〇」
11	慶応2年	武者図絵馬	29.7×46.0×0.9	板絵着色	横一枚板	「奉納」「慶応貳ノ丙寅籍月」「石州ノ郷津ノ菊屋藤次郎」
12	慶応3年	廻船図絵馬 (〇〇丸)	35.6×49.0×2.0	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉納 慶応ノ卯三年」「十一月吉日」「柴田屋ノ高津文太郎」
13	慶応4年	廻船図絵馬 (武神丸)	26.9×37.2×1.8	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉寄進」「慶応四年ノ辰五月吉日」「石州浜田波子浦ノ藤原好右衛門」
14	慶応4年	廻船図絵馬 (不明)	35.8×48.5×1.9	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉奇圖」「慶応四戊ノ辰五〇〇〇」「高津浜 蔵屋恵吉」
15	(江戸時代)	廻船図絵馬 (大宝丸)	67.2×94.0×3.4	板絵着色	横三枚板	「奉掛御宝前」「國州松江ノ肥後屋和三郎」
16	(江戸時代)	廻船図絵馬 (石州御蔵入)	26.4×37.5×1.6	板絵着色	横一枚板	「奉寄進」「石州銀山附御領郷津釜屋宝来丸」
17	(江戸時代)	廻船図絵馬 (清正丸)	26.6×37.9×1.7	板絵着色	横一枚板	「奉納(左書き)」「酉九月廿二日ノ丹後國田辺野村屋徳藏船」
18	(江戸時代)	廻船図絵馬 (太〇丸)	34.7×47.9×2.0	紙本着色	横一枚板	「奉納」「讃岐屋ノ茂兵衛」

19	(江戸時代)	廻船図絵馬(石州御蔵入)	3.5.3 × 4.8.8 × 1.8	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉納」「石州郷田浦」「海運丸彦兵衛船」
20	明治元年	廻船図絵馬(石州御蔵入)	4.2 × 6.1.1 × 2.6	紙本着色	横一枚板	「明治元年／奉奇進」「口久丸／小川幾太郎」
21	明治2年	廻船図絵馬(口丸)	3.5.2 × 4.9.3 × 2.0	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉納 明治二年／巳八月日」「石州中須浦／上新屋藤吉郎」
22	明治8年	熊谷と教盛図絵馬	5.6.6 × 7.2.9 × 2.5	板絵着色	横三枚板	「明治八年丑八月吉辰」「石見国都國津村 頼主／井筒屋／平作郎」 「國」口奇進「國」干時／明治拾年／丁丑正月吉日／調之「 島根県管下／石見国郡賀郡／都濃津／施主／井上平作」「奉奇進」 「奉納 高山高屋／大明神」
23	明治9年	武者図絵馬	2.7.2 × 3.3.2 × 2.0	板絵着色	横一枚板	「明治九年／丙子四月吉日」「長州須佐浦／中之下大賀治六」 「奉納」「海上安全」
24	明治9年	おのみ図絵馬	3.1.6 × 4.1.7 × 1.8	紙本着色	横一枚板	「奉納」「丙子／明治九年／八月吉日」 「家内安全」「山口県長門郡阿武郡須佐」「大坂土佐相通五丁目／みなととし／南詰東江入」 「〇(一九印)御定宿とりかいや藤助」「(岩治(以下二四名略)以上同行十五人)(欠失)」
25	明治10年	廻船図絵馬(三三丸)	2.6.6 × 3.1.6 × 2.0	紙本着色	横一枚板	「明治十年寅三月吉日」 「奉奇進」 「國」明治十年／丑十二月 石州桑田松原／江木波太郎 「國」長州東田田賀部／近田松原／長州藤屋手松「 三〇」長州東田賀部十松」
26	明治10年	廻船図絵馬(明栄丸)	3.9.8 × 5.3.4 × 1.8	板絵紙本着色	横一枚板	「奉納」「明治十四年／辛巳八月」 「國」長州西田賀部松原村／山藤松次郎
27	明治14年	廻船図絵馬(三三丸)	3.3.7 × 4.8.8 × 1.7	板絵・紙本着色	横一枚板	「明治十八年酉一月吉日」「石見国郡子賀浦／松浦正太郎」 「奉納」
28	明治18年	廻船図絵馬(大正丸)	4.1.2 × 5.4.0 × 2.0	紙本着色	横一枚板	「奉納／明治廿一年子四月」「山口県阿武郡／江崎港 幸丸芳治」
29	明治21年	廻船図絵馬	3.1.2 × 3.7.9 × 1.8	板絵着色	横一枚板	「奉奇進」「明治武拾老年／十一月日 海上安全 長州阿武郡須佐」 「口／中野久」
30	明治21年	廻船図絵馬(口吉丸)	2.9.2 × 4.2.4 × 1.5	紙本着色	横一枚板	「奉納」
31	明治31年	廻船図絵馬(ナシ)	2.0.7 × 3.0.4 × 2.8	紙本着色	横一枚板	「奉納」「明治三拾老年」
32	明治40年	西洋廻帆船図絵馬	3.9.6 × 6.5.0 × 2.4	板絵油彩	横一枚板	「奉納」「海上安全為／出雲杵築村／午ノ年男／浜崎」 「四拾年三月拾一日」
33	大正15年	心願記念額	3.6.5 × 4.2.7 × 1.7	写真二枚		「心願記念当山行中」「大正拾五年八月武拾一日」「山地勢館」
34	(明治時代)	廻船図絵馬(被祥丸)	2.8.2 × 3.8.5 × 1.7	板絵・紙本着色	横一枚板	「奉納」
35	(明治時代)	廻船図絵馬(ナシ)	1.7.7 × 2.2.4 × 1.6	紙本着色	横一枚板	「奉納」

36	(明治時代)	廻船図絵馬 (口丸)	3.1.3 × 4.2.5 × 1.8	紙本着色	竪三枚板	「口丸」 「萬住」 「村」
37	(明治時代)	廻船図絵馬	3.8.2 × 4.6.3 × 2.5	板絵着色	横一枚板	「奉獻 隠州橋後周圍圖」 「賀茂島」 「郎船」
38	(明治時代)	廻船図絵馬	4.0.6 × 5.3.3 × 1.9	紙本着色	横一枚板	「口(給印) / 安全丸 献上主 / 石見國長浜村 三浦ノ甚吉」
39	(明治時代)	廻船図絵馬	3.1.4 × 4.2.7 × 2.0	紙本着色	横一枚板	「口丸」 「廻船」 「伊勢松」
40	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	2.6.6 × 3.6.2 × 1.7	紙本着色	横一枚板	「午五月」 (画面剥落大)
41	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	5.7.0 × 7.7.2 × 1.8	紙本着色	横三枚板	(画面剥落大)
42	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	4.8.3 × 6.4.6 × 1.8	紙本着色	横一枚板	「明圖」 「口丸」 「奉納」 「海上」 「安全」 (画面剥落大)
43	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	3.9.5 × 5.7.2 × 2.0	紙本着色	横一枚板	「口丸」 「浦」 「屋喜右衛門」 (画面剥落大)
44	(明治時代)	天下茶屋敷計図絵馬	9.3.8 × 1.3.9.8 × 9.0	紙本着色	横三枚板	「奉獻」 「天下茶屋 / かたきうち」
45	(明治時代)	おがみ図絵馬	3.2.3 × 4.2.2 × 3.0	紙本着色	横一枚板	「奉獻」 「家内安全」 「山口県長門國阿武郡 須佐ノ野頭村」 「大坂土佐(はり) / みなとはし」 「口丸」 「一丸印」 「御定宿とり / かいや藤助」 「七右衛門(以下九名略) 同行ノ十八」 (画面剥落大)
46	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	2.7.2 × 3.7.6 × 1.7	紙本着色	横一枚板	(画面剥落大)
47	(明治時代)	廻船図絵馬 (不明)	8.2 × 4.3.5 × 1.4	紙本着色	横一枚板	(上部欠失)
48	(明治時代)	廻船図絵馬	2.8.7 × 3.8.7 × 1.0	紙本着色	横一枚板	(画面剥落大)
49	(明治時代)	牡丹孔雀雀図絵馬	1.8.7 × 2.8.7 × 1.8	紙本着色	横一枚板	「未ノ歳男」 「國」 「長州須佐ノ喜田屋ノ岩吉ノ筆」
50	(明治時代)	牛図絵馬	2.4.2 × 2.9.9 × 1.3	板絵着色	横一枚板	「國」 「奉納」 「越中六波寺ノせ(給印) 皇徳丸ノ助右衛門船」
51	(明治時代)	大塚子鏡	20.7 × 56.9 × 1.2	板絵着色	横一枚板	「奉納」 「山口県須佐郡」 「大塚子」 「田中」 「吉澤中」 「佐々木三郎(以下九名略)」 「大塚ノ徳本子鏡」 「口丸」 「伊勢松」
52	(明治時代)	鏡	51.9 × 22.0 × 4.5	板絵着色	横一枚板	「奉納」 「山口県須佐郡」 「田中」 「鏡」
53	(明治時代)	大塚子鏡	34.6 × 49.8 × 1.5	板絵着色	横一枚板	「奉納」 「山口県須佐郡」 「大塚子」 「吉澤中」 「佐々木三郎」
54	(明治時代)	大塚子鏡	34.7 × 51.5 × 1.8	板絵着色	横一枚板	「奉納」 「山口県須佐郡」 「大塚子」 「吉澤中」 「佐々木三郎」

(10)

51	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	41.2 X 51.4 X 25	阿波国阿波郡 阿波二校校	「阿波国阿波郡 阿波二校校」
52	原形5井	阿波国阿波郡(阿波郡)	24.8 X 35.5 X 1.8	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
53	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	72.5 X 16.6 X 3.8	阿波国阿波郡(阿波郡) 阿波一校校	「阿波国阿波郡(阿波郡) 阿波一校校」
54	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	31.8 X 41.7 X 2.0	阿波国阿波郡 阿波三校校	「阿波国阿波郡 阿波三校校」
55	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	41.8 X 54.0 X 1.9	阿波国阿波郡 阿波三校校	「阿波国阿波郡 阿波三校校」
56	原形5井	阿波国阿波郡(阿波郡)	33.1 X 48.7 X 1.7	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
57	原形5井	阿波国阿波郡(阿波郡)	40.4 X 53.5 X 1.9	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
58	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	40.4 X 53.9 X 1.8	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
59	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	57.3 X 76.8 X 2.0	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
60	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	26.7 X 40.1 X 1.5	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
61	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	7.0 X 37.5 X 1.7	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」
62	原形2井	阿波国阿波郡(阿波郡)	31.4 X 41.7 X 2.0	阿波国阿波郡 阿波一校校	「阿波国阿波郡 阿波一校校」

阿波国阿波郡(阿波郡) 阿波二校校 阿波一校校

阿波国阿波郡(阿波郡) 阿波一校校

阿波国阿波郡(阿波郡) 阿波一校校

阿波国阿波郡(阿波郡)

(参考資料3)

宝泉寺船給馬群の奉納者一覽(国別)

国名	面数	奉納者(铭文)	現在の地名	No	備考
越中	1面	越中六波寺 全皇徳丸 助石衛門助	(射水郡) 富山県新湊市	50	皇徳丸
能登	1面	能州黒島 林石衛門助	(鳳至郡) 石川郡黒野町	7	
越前	1面	越州三国湊 島屋辰四郎	(坂井郡) 福井県三国町	6	福吉丸 福来丸
丹波	1面	丹波国田辺 野村彦徳藏船	(丹波郡) 京都府舞鶴市	17	清正丸
隱岐	1面	隱州嶋後周園那賀茂邑 □郎船	(周吉郡) 島根県西御所	31	
出雲	4面	出雲松江 船頭佐兵衛	(島根郡) 〃 松江市	1	
		隱州松江 肥後屋和三郎	〃 〃	15	
		出雲丹波村 午ノ年男 浜崎	(神門郡) 〃 大社町	32	
		隱州久村	〃 多伎町	66	
石見	18面	石見国神子路浦 花浦正太郎	(瀬戸郡) 〃 仁摩町	28	
		石州御津 菊屋藤次郎	(那賀郡) 〃 江津市	11	
		石見国那賀村 山藤佐太郎	〃 〃	61	
		石州御橋入 石州那賀浦 向達丸彦兵衛船	〃 〃	19	
		石州那賀浦 藤原好石衛門	〃 〃	13	
		石見国那賀郡波子村 山藤宗次郎	〃 〃	29	
		石見国那賀郡波子村 山藤倉次郎	〃 〃	60	
		石見国那賀郡波子村 藤原好石衛門	〃 〃	22	
		石州御橋入 石州銀山附藤原領 笠屋盛来丸	〃 〃	16	
		石州那賀郡銀山附藤原領 藤原五郎屋天仁	〃 (不明)	4	
		石州津田花原 江不地太郎	〃 浜田市	26	
		献上主・石見国長浜村 三浦善吉	〃 〃	38	
		石州御橋入	(不明) 〃 (不明)	20	
		石州美濃郡小浜 山本隆辰助船	(美濃郡) 〃 道田市	53	
		高津浜 藤原忠吉	〃 〃	14	
石州高津 貞ノ男	〃 〃	35			
石州中須浦 上新屋藤吉郎	〃 〃	21			
島根県石見国美濃郡中野島 坪野屋全忠皇丸□□治	〃 〃	58			
讃岐	1面	(讃岐+) 讃岐屋茂兵衛	(綾歌郡) 香川県中津町	18	伊勢丸

長門	17面	田万漆浦 大染井和吉 (阿武郡)	田万川所	54	大珠丸
		長州田万 大重小工 大谷工	"	10	大重丸
		願主 長州江崎浦 新谷和吉	"	55	
		長門國阿武郡口(江)崎浦 新谷和吉	"	59	大参丸
		山口県阿武郡江崎港 幸丸芳治	"	29	
		長門國江崎港 宮比伊三部 兼組五人	"	63	幸参丸
		長州領佐浦中之下 下賢治六	領佐所	23	
		山口県長門國阿武郡領佐 岩治(以下14名略)以上同 信+五人	"	24	
		高山村 石井屋三郎 当年二拾歳藏男	"	57	
		領佐浦 出雲喜兵衛	"	62	
		山口県長門國阿武郡領佐野頭村 (仁左衛門以下9名 略) 同行y+人	領佐所	45	
		(長州領佐 喜田屋岩吉単)	"	47	
		山口県領佐邑面中丁 若連中	"	51	
		(長門カ) 山地善徳	"	33	
		(長門カ) 大隈口勝	"	56	
		願主大谷平左衛門	(不明)	2	
不明	21面			(略)	
合計	66面			1266	

(備考) 船名は、島根県浜田市清水家文書の「諸國御客船帳」所載の船名

(参考資料4)

皇室手船給馬群のうち廻船一覽

奉納年	船型	船名	奉納者	帆数	乗組	縦×横	備考
享和4年2月	舟才船	栄徳丸	出雲松江船頭伝兵衛	30反帆	16人	62.0×92.9	青森 住吉社
天保3年7月	+	福祥丸	大谷平左衛門	17反帆	8人	53.3×71.4 (48.8×67.0)	青森 住吉社
天保6年6月	+	住福丸	住福丸口兵衛	17反帆	6人	46.7×60.8 (42.4×56.6)	青森 住吉社
安政2年5月	+		石州那賀郡殿山付御科 五島 船天口口	15反帆	6人	35.1×52.0 (24.6×47.2)	青森 住吉社
安政2年10月	+		讃岐屋茂三郎	12反帆	3人	26.3×33.8 (21.8×29.3)	
安政5年9月	+	富吉丸 長栄丸	越州三國津富産若四郎	22反帆		59.0×77.7 (49.8×68.5)	吉本善京筆
安政6年2月11日	舟才船カ		能州黒島林右衛門	13反帆		23.3×28.6 (21.1×26.1)	
安政6年3月29日	舟才船 (廻船)		江崎屋吉右衛門(須生清)			45.7×61.4 (41.9×57.1)	吉本善京筆
文久3年10月	+		石州美濃郡小浜山本屋辰助	11反帆		34.6×50.8 (31.0×47.1)	
文久3年11月	+	幸口口	川島屋好五郎 (須生清カ)	13反帆		34.6×48.8 (31.6×46.2)	
元治2年4月8日	+	大栄丸 (廻船)	田万渡浦 大栄丸和吉			39.7×57.5 (35.9×53.6)	
慶応元年9月28日	+	(廻船)	長州田万 大重小口口大谷口 口	23反帆	8人	40.5×57.3 (39.6×53.8)	
慶応3年11月	+		築田屋高津文太郎	19反帆	5人+	35.6×49.0 (31.7×45.2)	
慶応4年5月	+		高津浜 茂屋恵吉	8反帆	2人+	35.8×48.5 (32.4×44.9)	
慶応4年5月	舟才船カ	宝神丸	石州浜田波子清 藤原好右衛門	9反帆		26.9×37.2 (24.2×35.0)	
明治元年	舟才船	口久丸	口久丸 小川幾太郎	11反帆	1人+	44.2×61.1 (40.3×57.8)	
明治2年8月	+		石州中須浦 上新屋孫吉郎	10反帆	2人+	35.2×49.3 (31.3×45.4)	
明治5年5月	+	鳳翔丸	長州江崎浦 新谷和吉	23反帆		41.2×59.4 (36.0×54.4)	
明治5年	不明		益田口口早 大貫口口			24.8×35.5 (21.6×32.1)	西面刺落
明治10年3月	舟才船	三王丸		9反帆	1人+	26.6×31.6 (20.5×26.5)	
明治10年12月	+	明栄丸	石州浜田松原 江本憲太郎	24反帆	7人	39.8×53.4 (31.5×45.0)	真容あり
明治13年6月	+	金毘羅丸	島根県石見国美濃郡中野島沖 野屋金毘羅丸	13反帆	1人+	31.8×41.7 (24.8×34.8)	
明治13年8月	+	大参丸	長門国阿武郡江崎新谷和吉	13反帆	1人+	41.8×54.0 (32.8×44.9)	
明治14年8月	舟才船カ	宝吉丸	石見国那賀郡波子村山藤忠次郎	11反帆		33.7×48.8 (30.1×45.0)	
明治14年8月	+	金宝丸	石見国那賀郡波子村山藤會次郎	11反帆	1人+	33.1×48.7 (29.3×45.1)	
明治15年3月	+	利福丸	石見国那賀郡波子村山藤忠次郎	17反帆	1人+	40.4×53.5 (32.0×45.2)	

明治16年3月	弁才船 喜吉丸	須佐浦出雲吾兵衛	13反帆	40.4×53.9 (31.5×45.0)	
明治18年1月	◆ 大宝丸	石見国神子路浦 松浦正太郎	12反帆 3人+*	41.2×54.0 (32.2×45.2)	
明治21年4月	◆ (雑船)	山口県阿武郡江崎港 幸丸芳治	2人	31.2×37.9 (23.3×30.1)	
明治21年11月	◆	長州阿武郡須佐 中野久□□	12反帆 4人	29.2×42.4	
明治31年	◆		6反帆 2人	20.7×30.4 (17.8×25.5)	
明治40年3月11日 西9月22日	バーケン タイプ 弁才船 清正丸	出雲杵築村午ノ年男 浜崎 丹後国田辺野村屋徳藏	16反帆 4人	39.6×65.0 26.6×37.9 (23.3×34.6)	油絵
	◆ 大宝丸	雲州松江肥後屋和三部	26反帆 16人	67.2×94.0 (63.0×89.9)	
	◆ (雑船)	肥州島後内□□部 賀茂色□□部		38.2×46.3 (33.4×41.4)	
	弁才船カ (雑船)	□□蔵船 伊勢松		31.4×42.7 (27.5×39.1)	
	不明			48.3×64.6 (38.2×54.8)	西面剥落
	弁才船 宝来丸	石州郡山附御科郷津釜屋宝来丸	12反帆 4人	26.4×37.5 (24.0×35.4)	背景 住吉社
	◆ 禎祥丸		14反帆 3人+*	28.2×38.5 (25.1×35.5)	
	◆	石州高津寅ノ男	5人	17.7×22.4 (14.3×19.3)	
	◆			57.0×77.2 (46.8×67.0)	西面剥落
	不明			26.6×36.2 (23.7×33.7)	西面剥落
	弁才船	石州郷田浦 海運丸彦兵衛		35.3×48.8 (32.6×46.6)	
	弁才船カ	讃岐屋茂兵衛	12反帆	34.7×47.9 (30.6×44.2)	
	弁才船		11反帆 4人	31.3×42.5	
	不明			27.2×37.6 (25.4×35.5)	西面剥落
	◆	□□喜右衛門		39.5×57.2 (36.3×53.8)	西面剥落
	弁才船 (雑船)	石見国長浜村 三浦甚吉	10人+*	40.6×53.3 (31.8×44.6)	
	不明 (雑船)			26.7×40.1 (26.4×37.7)	
	◆	雲州久村		31.4×41.7 (24.3×34.7)	西面剥落
	弁才船 幸重丸	長門国江崎港 宮地伊三郎 乗組五人	16反帆 6人+*	57.3×76.8 (47.0×66.8)	
	不明			— ×37.5	西面剥落
	◆			8.2×43.5	上部欠失
	◆ (雑船)			28.7×38.7	

須佐村

大蓮寺 紹孝寺 瑞林寺 心光寺 淨蓮寺
法隆寺 光蹟寺 大蓮寺世代

須佐町

大蓮寺 紹孝寺 瑞林寺 心光寺 淨蓮寺
法隆寺 光蹟寺

〔奥阿武郡須佐村諸寺院〕

(中略)

覚

一当寺往古^〇留^〇孫^〇弘^〇黃^〇帝^〇の社有之、其由来ヲ尋ニ四千余年
の古、異國の御門軒^〇輶^〇黃^〇帝^〇の神靈、則我朝崇神天皇御宇
此山ニ応現して初て船造^〇万^〇民^〇教^〇給^〇ふ、其時船の道具の出
所今以在名トス、其後弘^〇法^〇大^〇師^〇此山ニ来リ、熊野^〇権^〇現^〇勸^〇請^〇
鎮國護法の靈神仰キ、嵯峨天皇の御宇弘仁元年庚寅秋、
御社と云所ニ方三四町ヲ社地と定社建立、御殿拜殿舞殿
御供殿廻廊一トして無不備、其後野火の災ニて社中不殘
灰燼、依之当頼朝卿之時而亦再造給ふ、然共深山茅山統

時災に依度々灰燼、此間年数相知不申候、然処ニ元禄十
六癸未十一月廿一日白髮交りの老僧忽然トして来、麓の
里ニて弥山^〇狗^〇留^〇孫^〇弘^〇の道跡尋、其有様不有唯人ニ、里人
怪ク思爰彼尋けれ共不知^〇方^〇、果して狗^〇留^〇孫^〇弘^〇安穩の辺
岩窟ニ入定ス、程経て明年の春三月廿一日ニ狗^〇留^〇孫^〇弘^〇參
詣の人初て知之、誠に奇異の思ヲ成其辺ニ葬之、然処不
思儀靈驗多ク、是権化の不有人哉、伝聞者不問遠近貴賤
參集拜礼ス、因茲宝永二乙酉年領主益田玄蕃就醫公建立
一寺、号妙高山瑞林寺ト、則紹孝寺二世宗岩門超和尚為
開山、享保十七壬子年十一月三日遷化、二代大看白道和
尚、元文四庚未七月廿四日遷化、三代現住徹奥探禪叟、
右当年迄三十七年相成候
一本尊釈迦牟尼仏
但、行基作
一本寺 須佐紹孝寺ニて御座候
一末寺の事 無御座候
一縁記由緒の事 無御座候
一狗留孫弘黃帝小社卷字
但、往古より寺内ニ有来候鎮守ニて御座候
一抱の堂塔小社の事

(参考資料5)

寛保元年(1741)瑞林寺由来書

632

但、寺外ニ無御座候

一棟札の事 無御座候

一勅額の事 無御座候

一宝物の事 無御座候

一御当家其外ニても諸事御判物の事 無御座候

一限有古墓の事 無御座候

一寺内間敷の事

但、左右式拾五間、前後十三間御座候

一本堂間敷の事

但、四間ニ八間ニて御座候

一開基益田玄蕃就賢死去年号の事

但、享保十七壬子十二月四日法名恭寛院殿心源全徹大居士、墓所須佐紹孝寺ニ有之候

一釣鐘の事

但、当寺二代大看度勸化防長之二州石州之六郡、以寄附之

附之

銘云

- 中州高松 黄帝現殿 弘基開密 中興修禪 領主草創
- 国民折筵 一口花鯨 正因衆縁 半間鐘樓 忽登青天
- 声通碧落 韻徹黄泉 警発衆昧 引接倒傾 報曉呼脱

入佐江郡 穿雲透嶺 到菽津辺 下自土座 上通公賢

閻者遁世 観則除愆 胸宇洞豁 心地現前 今此稽舎

門風永扇 有縁施主 惟德万年

時室永八竜集辛卯三月吉祥日

右由来書如是御座候

寛保元年 西九月十九日

井上武兵衛殿

妙高山

瑞林寺(印)

防長寺社由来 第六卷

昭和六十年一月十六日発行

編集発行 山口県文書館